

3DX

3D PRINTING EXPERIENCE

NAGOYA

開催日時

2026. 6 / 21 SUN 10:30 > 17:30

会場

名古屋国際センター 別棟ホール

〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野一丁目47-1

定員

100名

受講料

5,500円(税込・昼食付)

内訳: 受講料5,000円(税別) + 消費税500円 10%対象

3DX in NAGOYA 特設サイト

3D PRINTING EXPERIENCE

セミナーの詳細やお申し込みは、特設サイトをご覧ください。右の二次元コードから簡単にアクセスできます。



お申込み

ヨシダのホームページより
お申込みください。

<https://www.yoshida-dental.co.jp>

ヨシダ



スマホからは
QRで簡単アクセス



ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。

セミナー内容
についての
お問い合わせ

中部支店

TEL.052-762-3701 平日 10:00-17:30

G-PLUS会員登録や
セミナー受講方法の
お問い合わせ

g-plus@yoshida-dental.co.jp

※メールでの受付・回答のみとさせていただきます。
※お問合せは順次対応させていただきますが、状況により回答まで
お時間をいただく場合がございます。予めご了承ください。

Overview

近年、歯科分野においてもデジタル化が進んでおり、2025年12月からは「3次元プリント有床義歯」が保険導入されました。産業界では従来のNC加工(削る)からAM技術(Additive Manufacturing: 積層製造)へ変わりをはじめており、歯科においても材料の無駄が少ないAM技術にシフトしてきております。以前まではその材料特性に課題がありましたが、近年では改良が進んでいます。『3DX in NAGOYA』ではその積層造形法と臨床応用について、著名な先生方を迎えてご講演いただきます。

Moderator

株式会社NOVA DENTAL LABORATORY
代表取締役

中村 修啓 先生
Dr. Nobuhiro Nakamura



1st session

スプリントレイを用いた院内活用とDX化について

スプリントレイは、デジタルデータを基盤とした多様な技工操作を院内で完結可能とするソリューションであり、診療効率および精度の向上が期待されます。本院では口腔内スキャンデータを活用し、設計から造形までを一貫して院内で行うことで、治療の即時性と再現性を高めてきました。これにより診療プロセスの標準化と省力化が実現しました。本講演では、DX推進の実践例としてその有用性を検討いたします。

愛知県名古屋市
なみき通り歯科・矯正歯科
院長

安藤 壮吾 先生
Dr. Shogo Ando



2nd session

デジタル技工 -精度の高い補綴物を作成する為に ラボサイドがやるべき事-

昨今では歯科治療の成功のひとつにデジタルデンティストリーは必要不可欠な要素となっています。一概にデジタル機器といっても選択肢は多様化しており、選択を誤ると経営的の側面においても大きな影響を及ぼす可能性があります。ラボ業務においては、症例に応じた最善のマテリアル選択とそれに伴う機器を選択し、それらを使いこなす技術と知識が必要です。今回私は当ラボにおけるデジタル技工の考え方と3Dプリンターに求めることを解説します。

CURA ESTHETIC DENTAL CENTER
代表

鬼頭 寛之 先生
Dr. Hiroyuki Kito



3rd session

Digitally Driven Dentistry -SprintRayで加速する歯科臨床-

デジタル技術の進化により、外科領域のワークフローは大きく変革しています。本講演では、SprintRay 3Dプリンターの造形速度・精度・操作性を軸に、ガイドサージェリーにおける臨床価値を考察いたします。デジタル化によって得られる再現性とスピードが、診断から手技までの一貫性をどのように高め、治療アウトカムを加速させるのか、実際の症例を通して示します。

愛知県海部郡蟹江町
月星歯科クリニック 理事・副院長

月星 陽介 先生
Dr. Yosuke Tsukiboshi



4th session

補綴医の視点で紐解くSprintRay活用術 -アナログの経験をデジタルに活かす極意-

補綴装置の本質を知る歯科医師にとって、3Dプリンターは魔法の道具ではありません。本講演では、アナログ技工の全工程を熟知した演者が、補綴専門医の視点からSprintRayの「適材適所」な活用法を詳説します。導入初期のスプリントから、臨床の質を高めるプロビジョナル、さらには経営効率を最大化する内製化のステップまで、技工経験と経営的判断に基づいた、失敗しないデジタルワークフローの構築術を公開します。

愛知県弥富市
片岡歯科医院 代表

片岡 智 先生
Dr. Satoru Kataoka



5th session

SprintRay MIDASが切り拓く 院内補綴の新標準

従来、歯冠修復は加工機による削り出しが常識でした。しかし近年、3Dプリンターの台頭と材料の飛躍的進化により、「歯冠をプリントする」という新たなコンセプトが現実味を帯びてきました。現在は単冠修復が中心ですが、SprintRay MIDASはプリント工程を1つのカプセルに統合した製作が可能で、本講演では、IOSの豊富な臨床経験をもとに、加工機とプリンターの役割の違いと今後の展開を考察します。

神奈川県横須賀市
小池歯科医院 院長

小池 軍平 先生
Dr. Gunpei Koike

